

HAND in HAND

はんど・いん・はんど

〔ファーストレディは共働き〕

■46歳のクリントン。妻のヒラリーさんは45歳。同じ団塊世代というの嬉しいけれど、何ととってもアメリカで初めて専業主婦ではないファーストレディ誕生はとても興味深い。「私は私、彼は彼」という生き方は、既にフランスのミッテラン大統領夫人もやっていることですが、多くは、立派な夫と、尽くし支える妻という構図です。そのことにうんざりしているところへ、個人の決定権の問題である妊娠中絶の禁止を掲げたり、未婚の母を非難したり、稼ぐ夫を支える妻、そして子どもという伝統的家族主義を押しついたり、共和党の時代錯誤ぶりにはあきらはててしまいました。案の定、アメリカの女たちは共和党にNOを言いましたが、共働き大統領夫婦の、今後の女性政策が見ものです。■それにしても、我が国でも共働き世帯が増えていますが、家事育児負担が相変わらず女の肩だけにかかっている現状はどうにもならないのでしょうか。

共働きの主婦の1日平均家事時間は3時間、それなのに夫のそれはたった8分。専業主婦の夫は7分で、1分しか違わない。先日の婦人労働白書によると共働き世帯は914万で非共働き世帯(903万)を上回ったとか。ニコニコ離婚講座では、「妻が働くことに夫の協力がない」が年々、離婚理由として増えていますが、さらに拍車がかかりそう。今後、高齢化の一途をたどる老人介護も今のままではほとんどが女性の負担となり、女は仕事どころか、私は私なんて言ってもらえない状況です。在宅福祉なんて幸せそうな言葉ですが、結局、女が(嫁が)面倒みるんだよということですからね。さあ、私たちもぼやぼやしてはいられない。旧世代の男たちに代って、男女共生社会をめざせる女や男を政策決定の場に送りこまなければ。もちろん、身近な男たちを変えることも必要です。 (円より子)

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

第140号 200円 禁無断転載

【発行日】1992年12月1日

【発行所】現代家族問題研究所

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-23-504

〒151 電話03(3402)7354、4385

【発行・編集人】円より子

【スタッフ】雪野美子、小林千佳子

【印刷】(株)日出島

140

離婚相談窓口についての アンケート集計結果をみて

★

前回お知らせしておいた通り、ハンド129号で協力をお願いした「離婚相談窓口についてのアンケート」(作成・離婚制度研究会)についての特集です。

アンケート集計結果が得られた今年3月、それを今後の相談の場に生かしていこうという主旨で、ふだん相談に乗る側に立つ人間数人(別枠内参照)が集まって総括的印象等を述べ合いました。

今回ご紹介するのはそのときの話し合いからの抜粋です。

★

●須藤 相談員の態度について押しつけがましさを威圧感を感じたという人は28・5%だけ。いいえという人が70・2%を占めているこの数字をみると、行政の相談員というのは案外、肯定的に捕らえられているようですね。

●円 行政の場合、こういう窓口があってこういう相談に乗ります

よといったPRが不足しています。だから利用しようとする人にまず相談に対して偏見があった、けれども行ってみたら良かったという傾向が強かったんじゃないかという気がするんです。

としたら行政側はもっと良さをPRしたっていいのではないのでしょうか。そうすれば助かる人が増える。離婚の相談をしてくれるのは調停、家裁だと思っている人が圧倒的に多いですね。

でもフリーアンサーのところに書いてある不平・不満をみると、一方には傷つけられた人も多い。相談場所で相談者が傷つけられるというのは問題です。例えば調停委員に対する不満があることは手紙などでわかっていたことではありますけど…。

●須藤 われわれ民間人もそう感じますけど、裁判所の中の調停委員っていうのは非常に権威的ですね。調停の場というのは、ある意味では離婚の専門の機関なのに。

●金住 具体的解決機関ですね。

●円 調停委員に家裁の職員ではなく民間の人を当てるというのは、本来そういった権威的にならないようにという主旨だったのに、そ

の精神に則っていませんよね。

●須藤 そう。調停委員には主に社会的に成功した人「良い奥さん」「良い家庭」といったモラルの中に生きてきた人が選ばれているようです。「もっと苦労した人とか違う生き方をした人を調停委員にして欲しい」という回答がみられることからわかりますね。

●円 一夫一婦制を大事にし、離婚はすべきでないという人達が調停委員をやっている。だから相談に行った人が「やっぱり私は駄目だ、はみ出し者で失敗なのか」と思うような相談をしてしまうことはあります。

●金住 裁判所の中に「調停委員会」という制度が置かれていて、そのために権威主義がさらに拡張されているということもある。

つまり調停委員だって他のところではそれほど権威主義ではなくても、裁判所の権威の下で、裁判官と一緒に調停委員会を構成しているということで権威主義になってしまふ。日本の中で裁判というのは権威主義のかたまりのような制度で、裁判官は権威主義のかたまりのような人々ですから、その影響を受けて余計に権威主義的に

検討会出席者プロフィール

- ・金住典子……………弁護士
- ・須藤……………福祉事務所
- ・土井良……………福祉事務所
- ・円より子……現代家族問題研究所代表

なるということはあるでしょうね。

●土井良 家裁から調停の機能を別のところに外した方がいいかもしれないですね。

離婚相談のために福祉事務所を活用していないみたいですね

●須藤 このアンケートからは全体の状況はわかりませんが、しかし一般の方は離婚相談のときに、福祉事務所の婦人相談員を訪ねてみようとは考えないようですね。

●土井良 皆、知らされていないんですよ。そういうところが離婚の相談も受けてくれるということ。

だから先程、円さんもおっしゃったように、広報の重要性を感じ

ますね。行政や相談機関は私たち住民の「知る権利」にきちんと対応していない。

●円 福祉事務所というと、「生活保護を受けるような困ったときに行くところ」というイメージが浸透してる。だから皆、「私はそこまですべて困ってない」と考えて行かない。

じゃあどこに相談しよう、調停にしようか...と思っても、調停はイメージが悪いし権威主義だから嫌だとなると、ちょうど中間層の行くところがなくなってしまうことになりそうですよね。

●須藤 徐々に変わってきてはいますけど、福祉事務所の在り方も。他の福祉の分野が広がって、例えば老人の分野でかなり高所得の人が相談に来たりしている。いわゆる相談福祉・保険総合相談センターという感じになってきていて、新しい市民の相談に対応しようと動いてきています。

でも一方で相談者の方にプライドがあって、行政の相談窓口を利用する気がまったくないという場合もあるから...

●円 そういえば「プライドがあったので相談に行けなかった」と

いう回答もありましたね。

●土井良 たぶん、傷つけられると思ってるからじゃないかな。

その「プライド」というのはそんなに大きなものではなく、自分が直面している状況、抱えている問題に対して傷つけられるだろうという思いがある。

●円 威圧感というのではなく、確かに離婚に対してとか、女はこうあるべきという道徳観を押しつける人が多いですよ。優しいけれども、自分の生き方、社会通念、道徳観を押しつける相談員がいる。それで傷つけられる人が多い。

●金住 関係の無い、卑猥なことを聞いたりする人もいますしね。

●円 相談の場のセクハラですね。●須藤 地方と都会の地域的な違いはあっても、「女性は我慢し耐える方が得だ」という処世術みたいな日本人の持つ発想がベースになっていて、それが大きいのかもしれませんね。

●土井良 女性に耐えさせる表現の一つとして、「夫を立てなさい」「男性はそういうものなんだ」と男性の態度や生き方は肯定して、それに付随した女の生き方のイメージで相談を展開しているという印象が強いですね。

象が強いですね。

●円 対等なパートナーシップなんていうのは端から否定されていて、セックスも浮気も「男性はそういうものだ」「いちいちそんなことにメクジラ立てずに黙っていた方が家は安泰だ」というんですよね。

プライバシー尊重の姿勢と相談の環境が整っていない

●円 そういえば相談員がプライバシーを守る姿勢をみせていないという回答もかなりありましたね。

地方なんて離婚の本すら買えないというような状況なのに、相談員がまわりに聞こえるような話し方をしたりする。また皆に話の内容が聞こえてしまうような場でしか相談を受けられないという回答もありました。

●土井良 「相談の環境」ですね。相談室すらないという状況がある。これは社会に向けて声をあげたい。

●円 他方、相談員も「秘密を守りますから安心してください」という基本的な考えを、仮に持っていないでも、毎回毎回、言葉に出して確認し相手を安心させてから相談を始めようという体勢がありませんよね。

●須藤 そういう態度はまだ行政の中には生まれていません。

●円 回答の中には相談が無料なので無責任だという声もありましたが、やはり無料・有料にかかわらず相談は一つの契約だという認識が、日本の場合、利用側にも受ける側にも定着していない。だから「プライバシーを守りますから安心してください」の一言も言わないし、そういう環境も整っていないんですよ。

●金住 相談員が氏名を名乗ったかどうかについては、はいが51・7%、いいえが45・7%で、はいの方が若干多いですね。

●土井良 若干では困ります。プライバシーを守ることと、相談員が自分の氏名を名乗ることは相談の基本ですから。

●円 外国では、相談員は電話相談では名前を一切言わないと設定されてるんですよ。

●土井良 個としてではなく機関としてということですね。

●円 そのへん、どちらがいいのかわかりませんけど。

●土井良 面接の場合は対面しているのだから言うべきでしょう。その方が安心します。

●金住 特に公務員の場合は個人責任を逃げすぎる。そのために人権侵害が起きやすい。

●円 職種も、アンケートでは職名を教えてくれたが49・7%、いいえが45・7%になっていますが、言った方が安心しますよね。

相談に行く側の人間としては相談員がこういうことをしている人だというのがわかれば、はじめに「相談は難しい」とか「どうやらいけそうだ」というのがわかるわけですから。

無料相談と気楽に考えてると必要なことが聞けなくなる

●金住 ちょっとここで、相談を受ける側からの視点で法律相談に来る人について言わせてもらおうと、有料の場合と無料の場合とは来る人に違いがあります。有料の場合、積極的だし、ある意味で主体的です。ところが無料の場合、無料ということでのいい加減さとか消極的というところがある。

経験的に言うと無料の相談に来る人は、もちろんすべてではありませんが、きちんと相談の準備をして来ないし態度にもめり張りがきいていません。

●円 無料の場合、例えば秘密は守られるとか、相談員の職種や名前を尋ねにくいというのが反対にあるのかもしれないですよ。

●金住 無料の場合、相談員の方がボランティアでやっているという意識があるから有料よりは偉そうな態度が出る傾向があって、それで相談者もうまく相談できないという面もあるのかもしれないね。つまり関係からくる問題。

●土井良 私の場合、無料の相談は有料の相談へたどり着く前段のプロセスとして活用するよう、相談者に勧めています。

迷いがあって混乱している自分の気持ちを整理したいときや、法律の相談をするため弁護士のところに行った方がいいのではないかと考えたときは無料の相談を受けることを勧める。そこで言われたことを参考に自分が解決しなければならぬ問題点を見定めるためにです。

そしてそこで問題点がはっきり見えるようになったら有料の相談を勧めるわけです。

●金住 今も言いましたが私の経験からいうと、無料相談に来る人には資料も何ももたずに来る人が

多い。だからどうしてもきちんと相談に乗ることができない。

無料だからといってどこかで気軽に考えていると、相談者も聞きたい情報は得られなくなるわけですから、このへんは考えておくべきだと思います。

●土井良 無料の相談で「こういう資料を持って来ないと相談にならない」と言われることも必要でしょうね。言われて初めて「自分の問題を解決するためにはこれが必要だ」ということに気付く。例えば経過のメモが必要だと気付くことがあるわけです。そうして気付いてくれれば私たち相談員も役割を果たそうと一緒に整理していけるし、うまく弁護士にバトナタッチできる。

状況や問題をどう表現したら相手にわかってもらえるのか自分もわからない。涙が零れそうにここまで流れてきていて、いっぱい問題や悩みを抱えていてわからない。そういうときに無料の法律相談に行ってしまったら傷つくような言い方をされると思う。

要するに入口ですね。どういう状況のときにどういう相談機関にたどり着くかがターニングポイントになる。

トになる。

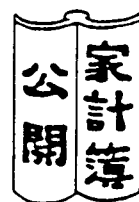
だから前の話にまた戻りますけど、各相談施設の広報活動の重要性を感じます。「こういう問題を抱えているときにはここにいらっしやい」という道しるべをたてていく必要がある。

●金住 一般の相談機関で工夫がなされていませんね。相談者の意見や感想を聞こうとかいう姿勢がない。税金も設備も使いながら、もったいない活動の仕方をしている。苦情がアンケートで出てくれば、それをマニュアル化し、職員に配るだけでも相談の質の向上につながるのに。

●円 相談に来る人、電話をかけてくる人を見ると、自分がどこへ行っていいかわかってない人が圧倒的多数です。

離婚とか夫婦の関係とか浮気とか悩みの種類はわかっているけど、調停に行くべきか、弁護士に相談すべきか、福祉事務所に行くべきか、その前の電話相談を受けるべきか、ということがわかっていない。

だからそのへんをはっきりさせてあげられるようにすることは、相談を受ける側としても非常に必要ですね。



第80回

宮城県 Uさん

【家族構成】

私 34歳(社員研修派遣講師)

長女 2歳8カ月

【住居】

3LDKのマンション

長女が7カ月の時に別居。その後3カ月間賃貸マンションに住んでいましたが、バブル全盛期だったため親の残した横浜の土地を売のマンションを買いました。現在価格が購入時より1千万も下落しショックを受けています。

結婚当初より金銭的におぶさられていて、手持ちのお金はほとんど相手方に使われてしまいました。仕事は、出産前後を除いて続いています。2カ月前に離婚が成立し、月額3万円の養育費の取り決めを

家計簿内訳
(1992年8月1日～末)

【収入】	
講師料	210,000円
教室	15,000円
資料(原稿作成)	35,000円
養育費	30,000円
計	290,000円
【支出】	
食費	65,000円
医療費(薬品)	5,500円
医療費(整体・鍼)	15,000円
交通費	25,000円
光熱費・水道料	35,000円
電話代	12,500円
衣料費(子ども)	12,800円
子ども体操教室	5,000円
新聞代	4,600円
書籍(子ども分含む)	10,000円
交際費	22,000円
マンション管理費	9,300円
国民年金	9,700円
生命保険(2人で)	38,800円
学資保険	198,000円
計	290,000円

しました。今回が第1回目の支払でしたが、いつまで続くやら全くアテにできません。会社の研修は春と秋に単発講座が増え、多少収入も増えますが、夏場は定期講習のみのうえ夏休みが入り、公私ともに金銭の出入りにムラがあります。それに、仙台とはいえ、夏場は自宅での仕事もクーラー代(電気代)がかさみます。

現在は主な収入の仕事が東京なのと、保育所がいっぱいで入所できないため、毎月7～8日間、子どもを連れて泊まりで東京へ行き

ます。東京での宿泊は、母方の親類や友人宅です。仕事の時間が比較的短時間なので(4～5時間)子どもは知人、友人に預かってもらい、あまり寂しい思いをしないですむのでも助かっています。

食費は外食や自然食品の宅配などで、その月々に差があります。子どもは病気が知らずなのでとても助かります。薬品は主にビタミンとカルシウム関係で、整体は1年程前から通っています。(離婚までのストレスを未だに引きずっています)会社関係でなく個人的に持って

いる教室は、月謝も抑え気味なうえ、何かと持ち出しが多いので、今後の運営には注意しなければと考えています。

別れた夫が私に無断で、私を連帯保証人にして多額の借金をし、何かと私に頼ってくるので、2カ月に一度の子どもとの面接交渉が悩みのタネです。

子どもの学資保険を二口かけていたのですが、一口を解約し私の生命保険を増額しました。それとやはり、何かの時のまとまったお金を作っておきたいので、マンション買い換えも考えています。仕事柄、多く取れば収入も増えますが、その分ストレスも並みではないので、できるだけムリせず、ムダなくをモットーに暮らそうと思っています。(なかなかそうはいきませんが…)

こちらには、頼れる親類など全く無いので、まず、母子とも健康第一と考えています。仕事が多く取れた時は貯蓄に回し、税金その他の支払いに当てています。

いずれにしても来年4月から保育所に入れる予定なので、私ももっと安定した形で仕事ができるようにしたいと考えています。

ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどんどんお寄せください。

■母子家庭に有益な情報を載せて

(35歳・東京)

働く女性の立場は依然として厳しい状態にあります。それがシングルマザーの就労となるとさらにハンディが大きいものとなります。一人親家庭を支援する制度はあっても、それが個人的にとこまで利用させてもらえるのかはまったくわかりません。

例えば家事ヘルパーを派遣する制度が各自自治体にあります。いざというときとこまで対応してくれるのか、それだけの人材を確保できているのかなどは一般の人間には伝わってきません。

このような母子家庭に有益となる情報をもう少し突っ込んでハンドの会報で取りあげていただけましたら幸いです。よろしくお願ひ致します。

■「それでも今の方が幸せ!!」

E・N (32歳・大阪)

7月に私が子どもを連れて家を出ました。理由はいくつもありましたが、夫がいつも「おれのお金だ」「お

前を食わせてやっている」「釣った魚にエサはやらない」などと言う

ことに対する反発、夫の性格(ルーズ、何があっても人の責任にする)に対する嫌悪感。そして決定的だったのは、昨年11月に生まれた子どもが先天性心臓病だったことに對して、夫の両親が「ああいう子は知恵が遅れる」「親類にも生まれたと云ってない」などと言い「縁を切る」とまで言われたことに對し、夫が私ではなく自分の両親に同調したことです。

子どもの手術が終わるまでは(生後1年目ぐらいに行う予定です)と思っただけで我慢していたのですが、「我慢してまで結婚というものはしては渡さない等」と言い出しましたが、生まれて一度も抱いてもらったこととすらないような家に渡すことはできるはずありません。夫も離

れ、夫の両親が「ああいう子は知恵が遅れる」「親類にも生まれたと云ってない」などと言い「縁を切る」とまで言われたことに對し、夫が私ではなく自分の両親に同調したことです。

Q 1年前から実家に戻って別居しています。

夫は夫婦仲の悪い両親のもとで、自分中心で思いやりがなく、大変苦しい結婚生活でした。私が39度の高熱で苦しんでいるときでさえ夫婦関係を強要し、私の友人が電話をかけてくれても妨害をして話をさせてくれません。自分では海外出張に恋人を伴うくせに、私には「留守中、子どもと2人で楽しいところに行くなよ。町内から出るな」と要求します。ずっと女性関係も続きました。別居直前の半年間の不貞については恋人からのラブレターがあります。

現在、夫は離婚はしない、子どもは家の跡取りだから自分によかせと要求しています。

私の長男は長男である夫が親権者になるものなのでしょうか。また6カ月間しか不貞を証明できなくても離婚できるのでしょうか。



協議または調停で離婚に相手方が応じないときには、

民法の定める離婚原因がなければ裁判離婚はできませんが、不貞はその一つですから離婚はできま

弁護士 110番

す。長期間不貞が継続したということまで要求はされません。仮に不貞の証明が不十分だったとしても、婚姻生活を継続することが著しく困難な性格の方のようですので離婚が認められるか否かというレベルでは心配いらないでしょう。

子どもの親権者は子どもの福祉を基準にしてどちらが子どもにとって幸せかで決めます。その際、まったく経済力が参考にされないということはないでしょうが、重視されるのは精神的安定です。

子どもは家の財産を継承するための道具ではありませんし、長男だけが親の財産を相続できるわけでもありません。

世間一般では嫡男系嫡出の長子、確かに家の跡取りということとで重んじられる傾向はあるのですが、それは法律が予定していることではなく、むしろ女性差別につながるものですから、そのような因習を克服する責任が政府にはあると思います。

自己主張すべき!

06 (393) 1331
弁護士 竹川幸子

婚にはウンと言ってくれませんか、これが大変だと思いが、頑張ります。

話は飛びますが、今後ぜひ取り上げてほしいことは「別居中」という不安定な身分でどのように皆さん生活されているか、ということです。

夫側には私の持っていた荷物があり、社宅があり、税金の控除があり、家族手当があるのに、私には何もありません。郵便物も渡してくれませんか、健康保険証も貸してくれない（コビーはくれましたが心臓病の子どもを抱えてです）、給料は当然くれない。子どもの予防注射の日程もわからない。まったくもう…。

それでも今の方が幸せ!!
来月から調停も始まります。がんばろう!!

■女性の給料が高くなれば

(53歳・富山)

138号の家計簿公開のYさんに敬服の一言です。とかく他の目がある私。おそまきながら教えられました。

この欄は好きです。人格が写真をみるようにわかるし、本当にガ

ンパッテルなと思えるから。とにかく女性の給料が高くなるように祈ります。

振り込み通信欄から

■少し疲れたけどまた頑張ります

(?歳・東京)

毎月、拝見させていただく自分を取り戻せて元気になる。

離婚して1年半、2度の転居に4回の転職やらで環境がめまぐるしく変わり、忙しい日々でした。その度、前向きにやってきたつもりですが、少しは子どもの将来と今後の生活設計に役立っているといのですが…。少々、疲れたけれど、また頑張ります。

現在、9月より通い始めた電話相談員の養成講座が何より楽しみです。

■自立にはまだまだ遠いけど

K・N (?歳・静岡)

早いもので入会してから2年。とりあえず別居実現で1年数カ月ですが、未だ平行線のまま。とにかく現在は子ども共々健やかに過ごしています。

この4月から外への勤めを辞めて家での学習教室に切り替えまし

たが、この9月末やっと3人目の生徒、週延べ6人となりました。こんなところで経済的自立はまだまだ遠く、時間的に保育園の二児を迎えてから始める仕事なので、4歳の次男がいま一つというところ

■もう少しの辛抱だ!!

(?歳・兵庫)

離婚して10年経ちました。長女が働き初めてヤレヤレ。長男が高2なので、もう少しの辛抱です。がんばらなくっちゃ!!

■お便りを読むのが励みです

(?歳・東京)

毎月、ハンドの会報、楽しみにしています。子どもが弱く（病氣ばかり）、仕事もなかなか見つからず、精神的に苦しい状態が続いていますが、明るさとのんびりな性格で何とか生活しています。皆さんの頑張っている声（お便り）が励みです。これからもうぞよろしくお願いします。

■誰かの支えを感じるこの頃

(?歳・兵庫)

購読して3年になります。早いもので離婚後、結婚生活7年間と同じ年月がもう過ぎようとしています。子どもとの2人暮らしが7

年目です。世間一般の不安はありますが、同じことで悩む近所の人にこの機関紙を知らせたりし、そのことによって夫婦について、また別の角度で考えたりすることもできました。目に見えない人間関係の大切さ、難しさ、機微について考え、やはり人は一人では生きていけない、どこかで誰かに支えられていると感じています。私の場合は、今のところさしずめ子ども、仕事、まわりの人達といったところでしょいか。

■人生設計を考えたいつもりだが…

(35歳・東京)

昨年10月に離婚し、今年4月より親子2人暮らしが始まったばかりです。かなり高い家賃を払っており、心配のあまり保険にもずいぶん入ってしまった、本人はそれなりの人生設計なども考えてみたつもりですが、ただ行き当たりばったりの思いつきといった感が強く、今から修正なり手が増えられたらと思います。

■ハンドを家庭文庫に置こう

E・E (?歳・宮城)

毎回、送ってくださりありがとうございます。7歳、4歳を抱えて育児まっ最中です。

辛いときにお守りとして綴って読み返します。近々、家庭文庫に置いて悩める母たちに読ませてあげたいと思っています。

お世話係から

■12月の忘年会に來ませんか

(41歳・愛知のお世話係)

愛知の会合として仲間同士のネットワークを広げるため、自分のできることを、して欲しいことの名簿作りを始めています。

12月は例年のように忘年会を開いて1年間の垢落としをする計画なので、参加される方は歓迎します。日時等、詳しいことについては、までご連絡を。

■ネットワーク通信を発行します

(?歳・大阪のお世話係)

H・I・H会報を通じて、また行事での出会いでずいぶん友人が増え、本当にうれしく心強く喜んでいます。

そのまま何もしないでおくてはないと、まったくの不定期、手作りながらネットワーク通信を発行してみることになりました。

大阪近辺の方、中心ですが、どんどん大きく広がるといいな一と思っています。どんな内容でどこまで出来るかわかりませんが、より身近なところで本音の出せる通信を目指します。

全国で同じようなことをしてらっしゃる会の方、連絡いただけ

ら幸いです。情報交換できるというと思います。どうぞよろしく。

編集部/このハンドの会も手作りのミニ会報から始まりました。会員の皆さん、お便りを出す等、協力をしてあげてくださいね。

お便りください

■乳幼児を持つお母さんへ!!

(?歳・埼玉)

毎月毎月、会報が届くのを楽しみにしています。

8月に離婚しました。円先生の本に出会って本当に勇気づけられました。そしてハンド・イン・ハンドの会のことを知りさっそく入会しました。同じような仲間がたくさんいることを知って、私もがんばらなくちゃ! とはげまされます。

今度、乳幼児のいるお母さん達のサークルを作りたいと思います。情報交換やハイキング、スポーツなどをして休日を過ごしたいと思っています。一緒に、一番大変な時期を乗り越えましょう。連絡お待ちしています。

■同じ思いを分け合えたら

(43歳・秋田)

夫の借金が原因で子ども2人を連れて別居しました。

夫は子どものしつけよりも共働きを強要し、その収入をあてにして遊興にふけり、その結果の借金でした。今、離婚訴訟中です。

提訴してからもうすぐ1年経とうとしていますが、なかなか思うように進展していません。その間訴訟手続きが意味もなく3カ月も遅れ、弁護士を疑ってみたり、夫の兄達からいやがらせをされたりといろいろでした。訴訟などほとんどの人はめったに経験しないことですし、また当事者でもない人が聞いて快い話でもなく、そう思うとつい一人で悶々と過ごすばかりです。

日頃、心許して話せる友はいません。いろいろ気遣ってくれる人もいます。でもやはり通ずる部分がいま一つ無く、こういうことは同じ思いをしているハンドの仲間ではないと解り合うことは無理なのではないかと思うこの頃です。

同じような状況にある方、お便りお待ちしております。お互い励まし合って現状を乗り切りましょう。

H・I・H・OSAKA
おしゃべりネット
創刊号
1992.10.1発行

読者の声
おしゃべりネットの創刊号が届きました。読んでいて、自分もこんな風に思っている、という気持ちになりました。読んでいて、自分もこんな風に思っている、という気持ちになりました。

おしゃべりネットの創刊号が届きました。読んでいて、自分もこんな風に思っている、という気持ちになりました。読んでいて、自分もこんな風に思っている、という気持ちになりました。

H・I・H・OSAKA
おしゃべりネット
創刊号
1992.10.1発行

読者の声
おしゃべりネットの創刊号が届きました。読んでいて、自分もこんな風に思っている、という気持ちになりました。読んでいて、自分もこんな風に思っている、という気持ちになりました。

おしゃべりネットの創刊号が届きました。読んでいて、自分もこんな風に思っている、という気持ちになりました。読んでいて、自分もこんな風に思っている、という気持ちになりました。

▲「H・I・H☆OSAKA—おしゃべりネットワーク」創刊号

■子育てに悩んでいる方へ

(？歳・神奈川)

子育てに悩んでいる方、心と身体で感じる事ができたら幸せです。何かお役にたつことができると思います。

■夢が破れそうです!!

S・M(？歳・東京)

書いただけで済んだ気がして、今までもハンドに何度も書きましが、今度こそ投函します。

いい人生を送ろうと苦勞も承知で「歩けば転ぶこともある。傷は薬をつけてまた立ち上がればいい」と子どもと3人の生活を始めて4年が過ぎました。

不安定な職場を補うべく、いろいろずつと独学したりして前を向いて生きてきました(今も職業訓練校で夜週3回、食事を駆け足で作り経理の勉強をしています)。

でも疲れてしまいました。不安定な就職しないのなら自分で自分の職場を作るのが夢でした。ワープオペレーター+もう一つの特技+経理で。

勇気を奮い、仕事の合間をぬって3年もかけて市場調査をしたり、いろいろ工夫してきました。でも疲れてしまいました。

一人の限界と、定年のない、頑張れば頑張った成果の出る職場作りが、勤めながら道をみつける方法しかない自分には、どんなに厳しいか、よくわかりました。3年夢を追い続けて破けそうです。でもまだあきらめられません。

働きながら自分の職場を作る夢を持ってる方、『会いたい!』。ハンドの皆さんとお話したいです! 切望します!

誤あって連絡先がどうしても載せられません。ですから手紙は事務局に送っていただければ幸いです。事務局の方には勝手を言ってお済みませんが、どうぞよろしくお願いします。

編集部/S・Mさんへのお便りは、表記事務局「140号東京S・Mさん」宛にお願いします。

生活を真剣に考えている方へ
老人ホームの厨房係を募集中

私は只今、浦和にあります優良

老人ホーム

「の職員をしております。約1年前に今までの生活を全部クリアして埼玉に出て参りました。生活していけるか、子どもの学資(大学生)を調達することができのかの不安を抱いて、長年(半世紀)を過ごした三重県からここ埼玉に出てきました。

離婚に際して自分の決心はついても、最後の決断が出来たのは、娘たちがドンと後ろから押してくれたことと、仕事の「あて」があったことでした。

さて本題に入らせていただきますが、今私どもの厨房スタッフの方が人手不足で困っています。仕事さえあれば最後の決心がつくと思っていられる方がおられたら、私の立場とか経験もお話しさせていたいて、ご迷惑のかからない方法で目にかかれましてら幸せと存じます。

自分の生活を真剣に考えていられる方。自分の気持ちをストレートに行動に移される方にお会い出来ればと思っています。

■事務局便り

★鍋の季節がやって来ました! みそダシに好きな具とクズキムチを入れて食べるキムチ鍋が好物です。酒がうまい!! (雪野)
★ダイエットが成功しないまま鍋の季節に突入!! これでやせるのは絶望的。お魚も、野菜もおいしい。ああー。でも今月は負けないぞ!! (向井)
★今年もあと一ヶ月だというのに、何と頭の中のからっぽなことよ。今年こそは……との意気込みも又、消えてしまいそう。来年こそはとコリもせず……(小木)
★我が事務局はなんと平和なことか。食べる話と飲む話と、そして太ったの、やせたの。みんなダイエットという気迫のところへ、ほんとさつまいもが宅急便で来たのは、平和ボケに對するいましめかしら。

事務局はただいま赤字なので(私が細川さんにほれこんで、日本新党の仕事に没頭しているためでもあります)さつまいもでも食べてしのぎなさいということかなあ。

(円)



12月の離婚講座はお休みです

12月のニコニコ離婚講座はお休みです。次回講座は来年（平成5年）の1月です。詳しい日程については1月号でお知らせします。

★東京の会合は、12月26日（土）6時半～9時。アライビル302号室で。発送と会合。今年最後です。楽しくやりましょう。

会合のお知らせ

★大阪のニコニコ離婚講座

12月17日（木）午前10時半～。大阪府立文化情報センター（住友中之島ビル5F）で。講師は竹川幸子弁護士。

★大阪の例会日が変わります

大阪の例会日は今まで奇数月の第2土曜日でしたが、この日は学校の土曜休みと重なるため、来年（平成5年）から同じ奇数月の第4土曜日に変更します。今後、おまち

がえのないよう願います。

☎06(393)1331

竹川法律事務所（渡部）

お世話係

☆最近、とても活動的な人が増えてきたように思います。ミニコミ紙を作ったり、ピクニックやハイキングをする自主グループがあちこちに誕生していて、お手紙を読んでも嬉しくなります。もと

もと、この会は、入退会自由、会則も無しという、購読会員の集まり。管理された組織の嫌いな私が、一応、中心になっていますが、各地のグループが独自の活動をする事が大切だと思っています。もちろんお手伝い、応援はします。で、会合に来てほしいというラブコールは大歓迎です。

また、こちらから地方に行く時は早目に連絡します。で、ぜひ会合を持ちましょう。会合をきっかけにグループができればいいですね。

さて、1月14日（木）島根県松江市に、2月20日（土）名古屋に行きます。近くの方々、ぜひ事務局・向井までご連絡下さい。会を持ちましょう。

電話相談日時の変更

離婚一〇番の曜日と時間は左記の通りです。時間、番号等おまちがえのないように。

☆離婚一〇番

031340217354
031340214385
第2、第4木曜日が午後2時～5時。第1、第3、第5木曜日が午後6時半～9時半。

★購読料について

現在つぎの3通りの方法をとらせていただいています。

- ①1年間3600円（送料共）
- ②2年間まとめて前払いしてくださる方には、2年分、7200円のところを6000円に。
- ③出社払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください。それぞれ出費が多く大変でしょうが、期限切れの通知の入った時に、お振りこみ下さい。

（振込先）各地の郵便局にて

東京141120542
ハンド・イン・ハンドの会

（円）